

体育授業における学習指導論への ケイパビリティ・アプローチの 適用可能性

人間科学部
スポーツ健康科学科
教授

黒川 哲也



研究シーズの紹介

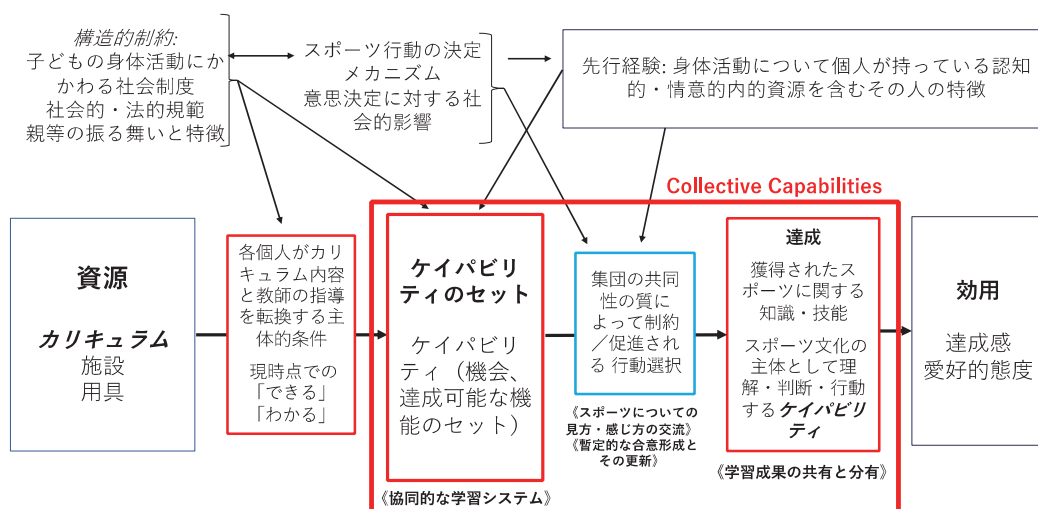
これまでの体育授業は、スポーツを「する」ことや体力の向上に主眼が置かれてきました。ところが、近年では、市民のスポーツとの関わり方が「みる」「ささえる」「うみだす」など多様化してきています。体育授業は、生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現していくための基礎的教養を、すべての子どもたちに「平等に」保障することを課題とするようになった

のです。本研究は、すべての子どもたちにスポーツに関する教養を「平等」に保障するための学習指導の方法を、現代平等論の中心をなす「ケイパビリティ・アプローチ」の観点から明らかにすることを目指しています。



学びの平等

- 学習指導における「深い学び」を創り出す方法が明らかにされます。
- 一人ひとりの学びと「協働的な学び」を統一するための方法を示します。



期待される活用シーン

- 体育科において「主体的・対話的で、深い学び」をどのように実現するか？



学びの「3C: conscious自覚的; cooperative協働的; critical批判的」を軸にした体育科の学習指導法



- 様々な「違い」をもつ子どもたちを対象にした体育授業をどのように校正するか？



能力や特性に適合した学習機会の保障と子ども同士の関係の平等の統一

その他の研究テーマ

- ・ スポーツを通じて育てるべき現代の教養（リテラシー）に関する研究
- ・ 体育科のカリキュラム構成に関する研究
- ・ 体育教師の信念と授業づくりとの関係